

主体的に学習する力を育てる図書館の利用指導

～ 3 学年「チョウの新聞」づくりを通して～

目 次

I	主題設定の理由	23
II	研究仮説	23
III	実態調査（児童と図書館の関わり）	24
1	結果と考察	24
IV	研究内容	25
1	図書館利用指導の意義	25
2	問題解決の方法	26
3	利用指導の内容と系統性	27
(1)	利用指導の体系表について	27
(2)	利用指導の体系表	28
4	教科学習と利用指導の関係	31
(1)	関連させることの意義	31
(2)	利用指導の機会と留意点	31
(3)	発達段階にあった授業の中での生かし方	32
(4)	学習過程における資料の生かし方	32
(5)	図書館の資料を使った調べ学習計画	33
(6)	図書館の蔵書状況	34
(7)	図書館マップ	35
V	検証授業	36
1	指導案	36
2	ワークシートと資料	41
3	授業を終えて	42
VI	研究の成果と今後の課題	44
	<参考文献>	44

浦添市立浦添小学校教諭

玉 城 香代子

主体的に学習する力を育てる図書館の利用指導

～ 3 学年「チョウの新聞」づくりを通して～

浦添市立浦添小学校 玉 城 香代子

I テーマ設定の理由

昨年、本校の3年生は理科と環境教育を関連させた学習の中で天然記念物について学習する機会があった。その時、教科書以外の図書や資料を多く必要としたが、児童の、学校図書館や公共図書館利用の仕方が不十分であることが学習に支障をきたした。「知りたい、わかりたい、調べてみたい」という意欲があるにもかかわらず、必要な図書を手に入れることができないため意欲はそがれ、あるいは、図書館に行ったものの、検索の基礎がわからないため他の図書に目がいってしまい、当初の目的を忘れてしまう児童が見受けられた。

このような現状から、児童が自分の課題に向かって学習をすすめていくためには、できるだけ早い時期に学習の仕方を知らせ、学ぶよろこびを体験させていくことが大切であることを感じた。そして、その手だての一つとして図書館の利用指導を充実する必要性を痛感した。

何かを調べようと思った時、必要なものがどこにあって、その資料を入手するにはどのような手続きすればよいかを知っているとどれほど便利だろう。また、図書資料を使って課題を解決しようとした時、どの資料を使えばよいか分かっていると、どれほどか学習がスムーズにすすめられることだろう。そのような活動の中で自力で問題を解決し、いろいろなことが分かり、思いがけない発見に出会った時、人は学ぶことが楽しくてしかたがなくなるはずである。そして、その学習の姿勢は生涯を通じて効率的に学習を続けるための基礎技能としてそのまま生涯学習の一役を担うものと思われる。また学習指導要領でうたわれている「自己教育力の育成」を具現化することができ、本校の教育目標である「すじ道をたてて考える子ども」「やりぬく子ども」の育成にもつながるものと考えられる。このようなことから、図書館の利用指導は、児童個人個人の興味・関心のちがいや能力差にも十分留意しながら個人に合った的確な資料を提供し、自主的な学習能力を育成し、個性の伸長をはかることが可能である。

実態調査によると、幸いに子どもたちは、いろいろな本がたくさんある図書館が大好きである。本を読みたくなった時はもちろんのこと、ひまな時にも「図書館で本でも読んでいよう。」と足を運んでいるようである。校区内には市立図書館や美術館などもあり知的欲求を満たすための環境にも恵まれている。また、3学年は学習内容や心身の発達段階からみても調べ学習を始める最適の時期だと思われる。

今回の研修では、3年生の発達段階に合った図書館の利用指導を日常のあらゆる学習場面と関連させながら、その具体的な方策について研究を深めたいと考え本テーマを設定した。

II 研究仮説

教科と関連させた調べ学習を行うことにより、児童は資料活用能力が高まり、主体的に学習する力が育つであろう。

Ⅲ 実態調査

1 調査の目的

3年生になり、学校にも慣れ、校内外での行動も一段と活発になり、その範囲も広がった。学習内容もぐっと深まり、これからお世話になる機会が多くなるだろう図書館に対する児童の意識をのぞいてみた。この調査をもとに児童の図書館利用に対する意識の実態を把握し、これからの図書館利用指導のあり方を考える手だてとしたい。

2 調査の内容

- (1) 知りたいことを知るための手だて（現在の問題解決の仕方）
- (2) 問題や疑問を解決するための図書館の利用状況
- (3) 学校図書館や市立図書館に対するイメージ
- (4) 図書館で利用する本（読書傾向）

3 調査月日と対象

- ・浦添小学校 3年3組 30名（平成5年5月15日）

4 調査の結果

- ・知りたいと思ったことに対して、本で調べる子（5人）もいるが、25の子は人（両親・先生や兄姉）に聞いている。
- ・知りたいと思った時、「図書館の利用」を思い付く子は多いが、あえて図書館まで出向き本を探し、調べる子は少ない。（2人）
- ・子どもたちは本がたくさんある図書館が好きである。本を読みたい時だけでなく「ひまな時、目的もなく行く」こともある。（市立図書館も同じ）
- ・市立図書館は家の近い子はよく行っているが、家の遠い子は「親といっしょに」「夏休みに行く所」とイメージされており「ちょっと遠い存在」である。
- ・読書傾向としては楽しみながら読むことのできる物語や昔話が多い。虫や小動物の好きな子が多いわりには自然科学類の本があまり利用されていない。

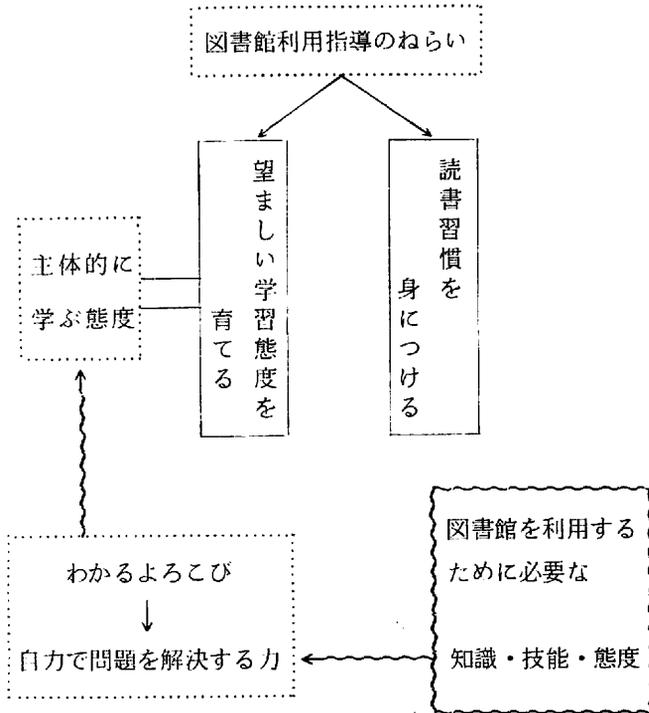
5 課題

- (1) 読書の仕方には「楽しみ読み」と「調べ読み」があるが、児童の多くは前者の方法で図書館を利用している。今後は、自力で問題や疑問が解決できるようにするために「調べ読み」の機会を多く作り、図書館の機能性を理解させる。
- (2) 調べ学習を通して、図書館と自分の生活や学習が関わっていることに気づかせ、問題解決の一方法として図書館を効率的に活用する技能を身につけることができるようにする。
- (3) 調べ学習を通して、わかるよろこび、発見するよろこびを味わわせ、わかったことをみんなに知らせることができるようにするとともに、これからの学習や生活の中の問題解決に対して意欲を持たせるようにする。

IV 研究内容

1 図書館の利用指導の意義

図書館の利用指導のねらいと主体的な学習態度および問題解決能力の育成の関係は次のように表すことができる。



文部省が学習指導要領の解説として発行している各教科・領域ごとの「小学校指導書」の中の「特別活動編」によると、「学級指導」の中に位置づけられた「学校図書館の利用と指導」のねらいは「望ましい学習態度と読書習慣を身につけさせること」である。

「望ましい学習態度」とは、「子どもが主体的に学習しようとする態度のことであり、「主体的な学習」とは「子ども自らが課題意識をもち問題解決のために調査研究をすすめ、それを達成しようとする学習」である。

そこで、調査研究をスムーズにするために図書館を利用するのに必要な基礎的な知識・技能・態度を育てることが必要となってくる。

社会の変化がゆるやかで科学、技術の進歩もそんなに急激でなかった時代では、学校教育によって詰め込まれた知識で十分社会に対応することができた。また、それによってわが国の産業や文化を急速に発展させることもできた。しかし、めざましい科学技術の進歩や、経済の発展をきたした現在の社会では学校教育で得た知識だけではもはや対応できなくなっている。これからの社会に生きていくためには、人々は常に新しい知識や技術を習得し、主体的な情報選択能力を持つことが迫られている。

そして今、人々が社会に適応していくために持たなければならない能力は、自分の手で問題を解決できる力である。これからの学校教育では、人々の生涯にわたる問題解決能力の基礎を養成することが急務であろう。これまでのように知識を詰め込むことを主とする教育だけでは、未来に生きる子どもを育てることはできないからである。

ところで、これまでに得た基礎的な知識・技能（文字を読むこと、書くこと、文章を作ること、計算すること・社会や自然に対して認識を深めること）を問題解決に生かしていくためにはどうすればよいのだろうか。

最も多く用いられる問題解決の方法として、いろいろな資料を利用する方法があるが、その

場合、図書や、その他の資料を収集し、整理し、保管し、情報センターとしての役割を果たす学校図書館を利用することは効率的である。また、利用指導はこれらの資料の利用の仕方を指導することによって情報を使いこなす力を育てようとするものなので、図書館の利用を通して子ども自身が資料を収集したり資料を作ったり、資料を伝達するなどの作業を繰り返し行なう中で、資料活用能力が育ち、自ら学ぶ意志、態度、能力が培われるものと思われる。これらは問題解決能力の基礎的な力となるものであり、「学び方」を学ばせる指導の一環であるといえることができる。

このように「学び方」を習得した児童（自力で問題を解決をする力を身につけた児童）は、わかる喜び、発見の楽しさを味わい主体的に学ぶ態度が増長されるものと思われる。

2 問題解決の方法

問題解決のために、図書館資料を利用して調査研究をすすめる時、子どもに必要な力として指導しなければならない事項を作業の流れにそっておさえてみた。

順序	活動内容	留意点	必要な技能
1	調査研究の計画をたてる	<ul style="list-style-type: none"> 調べる目的をはっきりさせる。 (何のために、どんなことを) 調べる方法を考える。 調べたことのまとめかたをきめる。 発表のしかたをきめる。 役割分担をきめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の特性を知る 資料の構成を知る 資料の利用の仕方
2	資料を集める	<ul style="list-style-type: none"> 資料リストを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 分類 請求記号と配架 目録の利用法
3	資料から必要な記事を探す	<ul style="list-style-type: none"> 必要な記事をできるだけ早く、正確に探し出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次、索引の使い方 まえがき、あとがき、解説の利用法 しおりの活用
4	記事を記録する	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究を効果的にすすめるために記録の仕方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの使い方 記録カードの使い方
5 ↓	記事をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> 資料から選び出し、記録した記事を調査研究の目的に合わせてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的にてらして記事を比較したり、要約する力

↑ 5		<ul style="list-style-type: none"> ・ 不必要な部分や、理解できないことまで丸写しないこと。 	
6	発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・ だれにでもわかりやすいように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表、図、視聴覚機器の利用の仕方

◎ この手順は児童用に書き直して調べ学習（新聞づくり）の時に利用し、仕事の進み具合がわかるようにチェックしながら作業をすすめた。（P17を参照）

3 利用指導の内容と系統性

(1) 「学校図書館の利用指導」体系表について

- ・ 小学校から高校までの指導内容が系統的に配列されているので見通しをもった指導ができる。高校を終えるまでに、このような力を身につけておくと、これからの学習あるいは研究等を効率的にすすめることができるものと思われる。
- ・ 図書館のための利用指導ではなく、子どもに「生涯にわたる主体的な自学能力の育成」をめざして作られた体系表は、指導内容の同じ傾向のものをまとめて6つの領域で構成されている。

	領 域 名	指 導 の ね ら い
1	図書館とその利用	◎ 図書館とはどういうものなのかを知らせる。
2	図書とその取り扱い	◎ 図書そのものをどのように扱えばよいかを知らせる。
3	資料の探し方	◎ 必要な資料を早く見つけ出すために、図書館の資料整理の方法を理解し、検索のための用具が使えるようにする。
4	参考図書の利用法	◎ 参考図書の特性、構成、利用法を理解し、使えるようにする。
5	図書以外の資料の利用法	◎ 資料の特性や利用法を知り、実際に使えるようにする。
6	調査研究のまとめかた	◎ 調査研究の目的に応じて資料が使えるようにする。

2019年12月10日

星期一

晴

今天天气晴朗，阳光明媚，我们全家去郊外游玩。郊外的景色真美啊！

郊外的景色真美啊！那里有绿油油的田野，金黄色的油菜花，还有那不知名的小花。

郊外的景色真美啊！

那里有绿油油的田野，金黄色的油菜花，

还有那不知名的小花。田野里，金黄色的油菜花开了，

像一片金色的海洋。田野里，金黄色的油菜花开了，

	I 図書館とその利用	II 図書とその取り扱い	III 資料のさがし方	IV 参考図書の利用法	V 図書以外の資料の利用法	VI 調査研究のまとめ方
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の利用 図書の資料と施設 図書館の使い方 読書検定 読書の姿勢 目の衛生 学級文庫の利用 学級文庫の整理方法 学級文庫の利用法 図書室内でのエチケット 図書室内で守るべきエチケット 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の扱い方 図書の取り扱以上の注意 図書の出し入れのし方 ページのめくり方 新しい図書の開き方 目次、索引の機能 目次の機能と使い方 索引の機能と使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年用図書のさがし方 絵本のさがし方 絵本以外の図書のさがし方 図書の配架 ラベルの色と配架の関係 2.4.9 類の配架 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の初歩的な利用法 植物図鑑の使い方 昆虫図鑑の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居の利用法 紙芝居の使い方 	
小学校 低学年	<ul style="list-style-type: none"> 公共図書館の利用 地域の公共図書館 入館、貸出、返却等の手続 各種サービスの受け方 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の愛護 図書返却の原因 図書の取り扱い方 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の分類 図書分類の意義 日本十進分類法のしくみ 請求記号と配架 請求記号の意義 請求記号と配架の関係 書名目録の利用法 国際語典の特性 国際語典の構成と使い方 漢字辞典の利用法 漢字辞典の構成と使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 図鑑の利用法 図鑑の種類と特性 図鑑の構成と使い方 やさしい百科事典の利用法 百科事典の構成と使い方 百科事典の特性 国際語典の利用法 国際語典の特性 国際語典の構成と使い方 漢字辞典の利用法 漢字辞典の構成と使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 視察資料の利用法 視察資料の種類と特性 視察資料の探し方 視察資料の使い方 新聞、雑誌の利用法 新聞、雑誌の特性 新聞、雑誌の構成 新聞、雑誌の利用法 地図の種類 地図の見方 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの種類と特性 ノートの取り方 目的に応じたノートの選び方 ノートの使い方 ノートにあった図書リストの作成法 ノートにあった図書の形式 リストの作り方 資料の要約法 要約のまとめ方
小学校 高学年		<ul style="list-style-type: none"> はじがき、注、解説、あとがき、索引 索引の利用法 索引の意義 各部の使い方 各部の構造 図書の構造 図書の構造 図書の大きさ 簡易製本の方法 	<ul style="list-style-type: none"> 件名目録の利用法 件名目録の意義 件名目録の見方 件名目録によるさがし方 	<ul style="list-style-type: none"> 年鑑の利用法 年鑑の特性 年鑑の構成と使い方 百科事典の利用法 百科事典の特性 百科事典の構成と使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ファイル資料の利用法 ファイル資料の特性 ファイル資料の作り方 ファイル資料の使い方 ファイル資料の見方 複数の資料からの要約法 複数の資料からの要約のまとめ方 複数カードの利用法 複数カードの整理法 表や図による要約法 表や図へのまとめ方 	<ul style="list-style-type: none"> 資料リストの作成法 資料リストの意義 資料リストの作り方 複数の資料からの要約法 複数の資料の見方 複数の資料からの要約のまとめ方 複数カードの利用法 複数カードの整理法 表や図による要約法 表や図へのまとめ方
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 中学校生活における図書館の利用 中学校生活における図書室の意義 図書室利用とエチケット 	<ul style="list-style-type: none"> 図書各部の機能 はじがき、目次、注、解説、索引、あとがき、索引の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の分類と配架 日本十進分類法のしくみ 請求記号と配架 目録の利用法 図書の目録の使い方 図書以外の資料の目録の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 参考図書の種類と利用法 参考図書の種類 目的に応じた参考図書の利用法 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞、雑誌の利用法 新聞の種類と利用 雑誌の種類と利用 視察資料の利用法 視察資料の種類 視察資料の構成 ファイル資料の利用法 ファイル資料の構成 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの作成法 目的にあったノートの利用法 カードの活用 レポートの作成法 レポートの手順 レポートのまとめ方
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 高校生活における図書館の利用 高校生活における図書室の意義 図書室資料の種類 図書室サービスの受け方 公共図書館、専門図書館その他の文化施設の利用 学校図書館以外の図書館利用法 各種文化施設の利用法 		<ul style="list-style-type: none"> 目録の利用法 図書の目録の使い方 図書以外の資料の目録の使い方 書誌、目録、索引、参考文献リストの特性 書誌、目録、索引、参考文献リストの利用 	<ul style="list-style-type: none"> 参考図書の種類と利用法 参考図書の種類 目的に応じた参考図書の利用法 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞、雑誌の利用法 新聞、雑誌記事の特性 記事索引の利用法 視察資料の利用法 視察資料の種類 視察資料の構成 視察資料の利用 ファイル資料の利用法 ファイル資料の構成 	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究資料の作成法 ノートの作成法 カードの利用法 ファイル資料の作成法 調査研究資料の整理法 レポートの作成法 レポートの手順 レポートのまとめ方

4 教科学習と利用指導の関係

(1) 各教科・領域に関連させることの意義

学習は、児童が新しい未知な経験や情報に出会い、そこに問題意識をもち、それを解決しようとする意欲を起こすことから始まり、既存の情報や先行経験を生かしながら、新たな情報や経験を課題解決のねらいにあわせて組み立てる作業や行動を通して、課題を解決していく過程である。つまり、学習者が課題解決のために様々な情報を集め、それをよりどころに考え、操作して処理し、必要な知識や技能などのいろいろな能力を獲得していく過程が学習活動である。

能率的、効率的に学習活動が行われるため、指導の際にはいろいろな条件に配慮することが大切である。学習指導要領総則に示されている学校図書館に関係のある記述にも、「視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図るとともに、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用に努めること」とあるが、このことから、教科指導のさいには教科書だけでなく教科書以外の教材・教具についても教科等の指導目標、指導内容、児童の実態に即して有効なものを精選して利用することが望まれており、それに対応して学校図書館も学校の教育活動全般を資料面から支え、資料センター、学習センターとしての役割が教育課程の展開に寄与することを求められていることがわかる。

(2) 教科における利用指導の機会と留意点

教科の性格により学校図書館との関わり方は一様ではないが、学校図書館利用指導の立場から教科学習との関係をみれば、どの教科においても次の2つのことが考えられる。

- ① 各教科の学習をより効率的にするために、学校図書館の場や図書館資料を利用する場合
- ② 教科の学習内容に読書指導と図書館利用指導を含んでいる場合

そして、それは下記のことに留意して行うとより効果的である。

- ・各教科の学習目標や内容を的確におさえること。
- ・学習活動のどの段階（導入・展開・終末・発展）での利用が適切か考慮すること。
- ・資料の数・理解度により利用の仕方を工夫すること。
- ・学習内容にふさわしい資料（図書・スライド・図表・フィルム）を選定すること。
- ・児童の発達段階・能力・地域実情にあった資料を利用すること。
- ・多くの児童に利用させる資料は複本を用意すること。
- ・学習内容や資料の種類により調べ方を指導すること。
- ・学級で必要な場合は図書館と連絡をとり、一定期間、図書をリザーブすること。
- ・資料だけによりかかって満足し、考える力を見失うことのないようにする。

※これらの留意事項は、単独ではなく、必要な事項を互いに絡ませながら実施することが望ましい。

(3) 発達段階にあった授業の中でのいかし方

学年	指 導 内 容
低 学 年	<p>◎ この時期の学習は、計画から整理活用までの過程も未分化な場合が多い。教師が学習の機会を見て利用していくのが普通である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が物語や例話を読んであげる。 ・学習内容にあった絵本や掛図・紙芝居・スライドを見せる。 ・同様のものを見ながら話させる。
中 学 年	<p>◎ この時期になると自発的な資料活用が可能になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に関係のある図書を自由に読ませる。 ・学習に関係のある事項をノートにとらせる。 ・研究のめやすをつけ、必要な資料を集めさせる。 ・参考書をお互いに知らせあう。 ・図書・その他によって研究したことを発表させる。 ・新聞や雑誌を利用する。 ・まとめ方・報告のしかたなどについても考えさせる。
高 学 年	<p>◎ 低・中学年の基礎の上に立ってさらに発展・深化させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の方向・方法・範囲をつかませる。 ・自由に図書館資料を利用させる。 ・新聞・雑誌・絵・写真などを集めて学習に役立たせる。 ・資料の利用の仕方について自己反省したり相互批判をさせる。

(4) 学習過程における資料のいかし方

導入のための資料	展開のための資料	まとめのための資料
<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見のため ・学習意欲を喚起するため ・全体的な見通しをたてるため 	<ul style="list-style-type: none"> ・印象を強め、理解を深め、定着化をはかるため ・実証させるため ・思考力を高めるため ・実感的・具体的に把握させるため 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実を提示するため ・学習を整理し、次時へ発展させるため

(5) 図書館の資料を使った調べ学習計画(案)

<ねらい>

◎ 調べ学習が本格的にスタートするこの時期に、児童を学校図書館の全分類の図書と関わらせ、いろいろな種類の図書に慣れ親しませる。

◎ 調べ学習を行うことによって、すべての教科・領域の学習が学校図書館とつながっていることがわかり、図書館が「問題解決の場」であることを気づかせる。

* 1年間の調べ学習の中で、児童が図書の全分類と全教科・領域に接することができるように配列した。

月	教科	関連単元	関連分類	学 習 内 容
4	特 活	図書しらべ	0～9	・ゲーム「図書館ラリー」を通して、図書の分類と配架を知るとともに図書館の機能を知る。
5	理 科	チョウを育てよう	0・4	・校内のチョウマップ、食草マップをつくり、チョウについて調べたことを新聞にまとめる。
6	社 会	私達の地図づくり	0・6	・いろいろな地図について知り、絵地図の作り方をしらべ、これからの校区地図づくりに生かす。
	道 徳	戦争と平和	0・3	・沖縄戦を知ることにより、平和の大切さと命の尊さに気づき感想を発表する。
7	音 楽	メヌエット	2・7	・ベートーベンについて知るとともに、バイオリンの仲間の楽器についてしらべる。
8	自 由	夏休み自由研究	0～9	・身近な生活の中で、興味・関心をもったことについてしらべる。(公共図書館の利用も促す)
9	国 語	沢田さんのほくら	9	・作者「宮川ひろ」の作品を集め、同一作家がいろいろな物語を書いていることを知るとともに、作品に親しみ好きな本を紹介する。
10	体 育	体育の日について	7	・「体育の日」について知り、自分の好きなスポーツについて起源や競技についてしらべる。
11	算 数	重 さ	0・4	・「重さ」の単位や起源などについてしらべる。

12	国語	意味の いろいろ	8	・国語辞典で、同音意義語・多義語集めをし意味しらべをする。
1	道徳	友情・ 助け合い	1	・心温まる話をたくさん読み、一番好きな話をみんなに紹介する。
2	社会	学校の 移り変わり	0 2 3 記念誌	・学校の歴史や、昔の浦添市の人々のくらしの様子を調べ、年表にまとめる。
3	図工	おはなし 工作	5	・いろいろな作品や作り方の本を参考にし、身近かな材料を使って楽しく工作する。

(6) 図書館の蔵書状況（市立図書館の本は児童室のものに限定）

- ・調べ学習の時、教師が下記の状況を把握しておくこと児童の資料収集がスムーズに行われ、資料の充実を図ることができる。
- ・近くの公共図書館（浦添市立図書館）は平日・土曜日は午後7時まで、日曜日は午前10時～午後7時、また、夏休み等長期の休暇にも利用することができる。
コピーサービスもあり、調べ学習の場として適している。

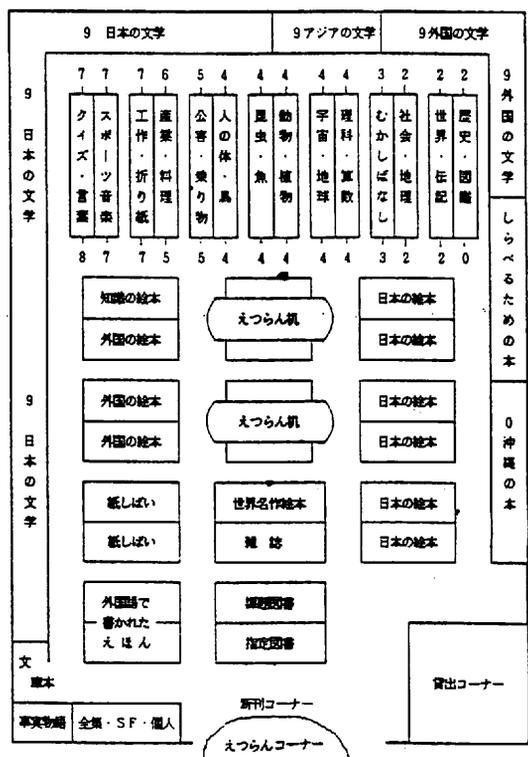
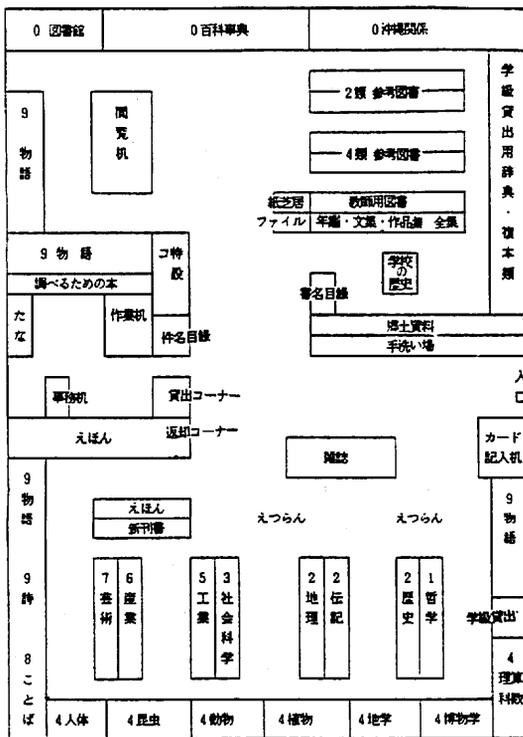
分類	内 容	学校図書館	市立図書館
0	総記（図書館・百科辞典・雑誌など）	1,438	4,065
1	哲学（哲学・心理学・宗教）	197	531
2	歴史（歴史・伝記・地理・紀行・史跡）	1,320	2,261
3	社会科学（政治・経済・法律・教育・民話・まつり・幽霊・妖怪・ことわざ・手話）	730	1,995
4	自然科学（理科・数学・医学・生物・天体・地球動物・植物・昆虫・魚・鳥・人体）	2,130	5,406
5	技術（工業・公害・電気・自動車・船・機械 家庭・料理・手芸・美容）	454	2,075
6	産業（交通・通信・産業・商業・漁業・ 園芸・ペット）	255	828
7	芸術（美術・音楽・演劇・体育・まんが・工芸・ 工作・おりがみ・音楽・映画・つり・クイズ）	794	5,471

8	言語（日本語一作文・漢字）・言語学一般 英語・外国語	449	635
9	文学	3,802	19,226
J K	郷土関係	分類0に配本	753
R J	参考書	関係分類へ配本	321
R J K	参考郷土	関係分類へ配本	107
え	絵本	481	23,777
P	紙芝居	83	4,002
総計		12,133	71,435

(7) 図書館マップ

<浦添小学校図書館>

<浦添市立図書館> 一児童室一



平成5年6月24日(木)3校時

浦添小学校3年3組 30名

授業者 玉 城 香代子

1 単元名 チョウをそだてよう

2 単元設定理由

(1) 単元について

本単元は、チョウの卵から成虫までの様子を飼育観察することにより、チョウの育ち方や体のつくり、幼虫期と成虫期の食べ物の違いに気づかせ、さらにいろいろな昆虫や虫の飼育・観察へ発展させることをねらいとしている。

しかし、今回は単に理科として扱うだけでなく、環境教育とも関連させて「自然のしくみ」を理解させるため手だてとして扱うことになった。教科書ではモンシロチョウを例としているが、本校では校内を始め、浦添城跡や学校周辺の草原から多く発生するツマグロヒョウモンを教材として用い学習をすすめていく。このチョウは5月下旬から6月いっぱい見られ、すみれ類を食草とするため、農家の畑に入り込むことなく身近かな所で卵を採集し、成虫までの過程を観察することが可能である。またモンシロチョウに比べ幼虫が強く、成虫への成功率が高いことなどからも教材として適している。

さて、環境教育と関連させて学習をすすめた場合、児童の関心は実際に飼育観察しているツマグロヒョウモンや校内・学校周辺に飛び交うチョウ、沖縄のチョウだけにとどまらない。

「もっと他にどんなチョウがいるのかな」「どんな所に住んでいるのかな」と興味は広がっていく。このような児童の関心の高まりを身近かにある図書館に向けていきたい。そして、持った疑問を解決するために図書を利用した「調べ学習」へ発展させたいと考える。そこで今回は、新聞づくりを通して「課題をつくる→調べる→まとめる→知らせる」調べ学習の全行程を体験させることにより、主体的に学習する力を育てる機会にしたい。

(2) 児童について

これまでに児童はバッタやコオロギなど草むらの虫を飼育したことはあるが、長期にわたって卵から成虫までを記録しながら飼育観察した経験は少ない。また、飼育する過程で出てくる疑問や問題は、親や学級担任など身近かな人に頼って解決してきており、本で調べるなど自力で解決している児童はとても少ない。これまではなんとなく図書館に行き、好きな読物をたのしく読むことで図書館に親しんできたが、これからは「日常生活の中で生じた問題や疑問を解決するための図書館」をイメージづけていきたい。そして、自力解決のための調べ学習がスムーズに行えるように図書の検索技能を身につけさせていきたい。

5月の図書館開館を待って、週一回の図書館利用指導の学習が始まった。図書の分類と配架

を知り、児童は図書館の機能が少しづつわかりかけてきた。さらに、理科の草花しらべや沖縄のチョウしらべ図鑑や百科事典の使い方を学習した。児童の検索技能はまだ未熟ではあるが、以前にくらべ必要な本をはやく見つけ出すことができるようになった。そのため問題解決のための図書利用をおっくうがらなくなった。また、目的をもって行くので図書館で遊んだり、騒いだりすることがなくなった。

何にでも興味をもち、溢れんばかりのエネルギーで即行動する3年生のこの特性を、あそびだけでなく知的活動にも生かしていきたいと思う。

3 単元目標

- ◎ 課題にあった図書を選び、調べたことをまとめ、みんなに知らせることができる。
- (1) 校内や沖縄のチョウに関心を持ち、チョウの名前や食草を図鑑で調べたり、スケッチすることができる。
 - (2) 校内のチョウマップや食草マップづくりを通して、学校と浦添城跡は一続きの自然であることがわかる。
 - (3) ツマグロヒョウモンの飼育観察を通して、チョウの育ち方と食べ物の変化がわかる。
 - (4) 昆虫の育ち方や体のつくりがわかり、他の虫類と比較して違いを見つけることができる。

4 指導計画

次 時	学 習 内 容 ・ 活 動	資 料
一 次	1 ① VTR「沖縄のチョウ」を視聴して、沖縄で見られるいろいろなチョウに関心を持ちこれからの学習の計画を話し合う。	・ VTR 〈図鑑の検索指導〉
	2 ② 校内のチョウを調べ、校内チョウマップを作る。	・ チョウ図鑑
	1 ③ チョウマップから校内にはいろいろなチョウがいることを知りそのわけを考える。	・ 副読本「沖縄のチョウ」
	2 ④ チョウの幼虫と食草の関係に気づき、校内のチョウの食草を調べ食草マップを作る。	・ 植物図鑑
	1 ⑤ 食草マップから、学校と浦添城跡は一続きの自然であることに気づき、学校周辺の自然にも関心を持ち、大切にすることがわかる。	〈百科事典の指導〉
	4 ⑥ チョウについて興味をもったことを調べる。(本時)	・ 百科事典 図鑑
二 次 ↓	1 ① チョウの卵や幼虫の世話の仕方を知る。	・ 図鑑 4類の本
	1 ② ツマグロヒョウモンの卵を採集し、飼育観察を始める。	
	1 ③ 幼虫が育つ様子と食べ方やふんの様子を観察する。	

↓ 二 次	1	④ 成虫の体のつくりを観察し、砂糖水を与える。	
	2	⑤ これまでの記録をもとに、チョウの育ち方と食べ物の変化についてまとめる。	
三 次	2	① 昆虫の体のつくりのきまりを知り、バッタやカマキリの体のつくりを調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百科事典 実物 ・ 昆虫図鑑 ・ 4類の本
	2	② 昆虫には二通りの育ち方があることを知り、口の形と食べ物 の関係についてまとめる。	
		第三次の学習は9月の学習単元「昆虫の体をしらべよう」 に発展する。	

5 本時の指導 (第一次 $\frac{8 \cdot 9 \cdot 10}{11}$ 時)

(1) 本時のねらい

◎ チョウについて興味をもったことを調べる。

- ① 課題にあった図書を選ぶことができる。
- ② 図書の中から必要な記事を選び出すことができる。
- ③ 班での話し合いやアドバイスをもとに、調べたことがみんなにわかるように新聞にまとめることができる。

(2) 展 開

学習内容・活動	指 導 上 の 留 意 点	準備・評価(★)
1 チョウについて調べてみたいことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに学習した内容から発展したものをとりあげさせる。 ・ 自分の課題と比べながら聞き、班作りのための参考にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題カード ★自分の課題をもつことができたか。
2 班づくりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の課題と類似する人と班を作る。 (3人～4人) 	
3 班の課題について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間巡視しながら助言する。 ・ 持ち寄った各々の課題が生きるとような班課題をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アドバイスカード ・ 班課題カード ★班課題を話し合っ て決めることがで

4 図書館で必要な本をさがす。

- 課題設定理由も明文化する。
- 必要な本が図書館のどのあたりにあるのかを予想させて行かせる。
(分類0・分類4)
- 配架を確認し、班員で手分けして探す。

きたか。

★必要な本をはやく探すことができたか。

5 集めた本の中から記事さがす。

- 関連部分にしおりをはさんでおくとうりであることを知らせる。

• しおり

6 各班の課題を発表する。

- 各班の課題を確認し、これからの学習に意欲をもたせる。

7 「調べ学習新聞」づくりの意義を知る。

- 調べたことをわかりやすくみんなに知らせるために作ることを理解させる。

8 「わかりやすい新聞」の条件を考える。

- ①文だけでなく、絵・図・写真も使う。
- ②記事に題名をつける。(見出し)
- ③字をていねいに書く。

• 少年少女新聞

9 新聞を作り始める。

- 「調べ学習新聞」の作り方表にチェックしながら作業を進めさせる。
- 終始机間巡視しながらアドバイスする。
- 課題にそったものであるかどうか確認させる。

• 手順表

(1) 集めた記事の中から新聞に載せるものを選ぶ。

- 掲載する記事と同じ数の面になっているか確認する。

• アドバイスカード
★課題にあった記事選ぶことができたか。

(2) 新聞紙面のわりつけをする。
(どこになにを書くか)

- 話し合って公平に分担する。
(個人の得手、不得手も考慮する)

• 台紙

(3) 記事の分担をする。

(だれがなにを書くか)

(4) 記事を書く紙を切り分ける。

(5) 記事を書く。

- 記事の内容を読み取り、わかりやすい言葉に言い換えて書くように心がけさせる。
- スケッチが苦手な子や写真の欲しい子はコピー機を利用させる。

• はさみ

★記事をわかりやすい言葉で書くことができたか。

• コピー機 のり
クーピー

OHP

机間巡視で見つけた良い例(「わかりやすい新聞」の条件にあったもの)を随時TPにして紹介し、自分のものと比べ検証させる。

(6) 書いた記事を新聞の台紙に貼りつける。		
(7) 班員で各記事を読み合わせ記事の題名をきめる。	・短い言葉で記事の内容を表すことができるようにする。(見出し)	★記事の内容にあった見出しをつけることができたか。
(8) 紙面全体を見直す。	・字・絵・写真・図等のバランスはどうか。 ・誤字脱字はないか。	★見直しの後、適切な修正ができたか。
(9) 考察を書く。	・調べ学習でわかったこと、気がついたこと、思ったこと、もっと調べてみたいことなどを話し合って書く。	★考察を書くことができたか。
(10) 感想(編集後記)を書く。	・調べ学習、新聞づくりの活動を通して、作業・人間関係の思い出やエピソードなどを話し合って書く。	★感想を書くことができたか。
(11) 次時予告をする。	・次は「調べ学習発表会」をすることを知らせる。	

(3) 各班のテーマと調べ学習に使った本

調べたいこと	しらべるときにつかった本
幼 虫	・図鑑「虫1」 ・昆虫類 ・世界のチョウ
チョウの体	・図鑑「昆虫」 ・あげは ・昆虫の観察 ・花と昆虫 ・昆虫のくらし ・昆虫 ・ふしぎなぜなぜ大図鑑
住んでいるところ	・世界のチョウ ・南の島のチョウ ・沖縄昆虫図鑑 ・アゲハチョウ
た ま ご	・アゲハチョウ ・生き物の飼い方 ・高山のチョウのくらし ・むし ・チョウの変身 ・チョウ
チョウのなかま	・ちょうちょ ・こんちゅう図鑑
ガとチョウの違い	・チョウとガ ・こん虫1 ・こんちゅう
好きなみつ	・図鑑「むし」 ・こどもかんさつカメラ「ちょうちょ」
さ な ぎ	・昆虫1 ・沖縄のチョウ ・南の島のチョウ
チョウの一生	・オオムラサキの四季 ・こん虫 ・アゲハチョウ
チョウの食べ物	・チョウ ・ちょうちょ ・とぶチョウ ・アゲハチョウ

(4) ワークシート (新聞)

しらべたいこと (かたい) しらべたいわけ		
	しらべたことをかくところ ・字だけでなく絵や図、写真なども入れてわかりやすく説明しよう。 ・記事に題名をつけよう。 ・わかりやすいことばでかきましょう。 ・字ばていひかいに書きましょう。	わかったこと・気がついたこと・もっとしらべたいことなど (考察)
新聞を作り終えての感想 (編集後記)		
新聞	作った日 クラス名 作った人	使った本

グループ新聞の作り方

★よく話し合って・ちかからを合わせて★

★おわたものしるしをつけながらしごとをすすめてしょう★

1	しらべたいことをきめる
2	しらべたいわけを話し合う
3	図書館で本をさがす
4	本の中から書くことをえらぶ
5	新聞のどこになにを書きかきめる
6	だれかになにを書きかきめる
7	本の中からえらんだことをわかりやすく書きなおす
8	書いた記事を台紙にはりつける
9	全体を見なおす
10	しらべてわかったことを話し合って書く
11	かんそうを話し合って書く

3 検証授業を終えて

(1) 授業者の反省

- めあての一つに「調べたことをみんなにわかりやすく知らせる」としたが、初めての調べ学習新聞作りなので「わかりやすく」まで要求する必要はなかったように思う。関連記事を選ぶのでさえ精一杯なので「調べたことをみんなに知らせる新聞」でよかったのではないかと。
- ある班で図書資料を12冊選び、さらにその中から関連記事を多くえらんであったが資料が多すぎて的を絞ることができず困っていた。資料は多すぎても少なすぎても困ることを気づかせることも必要であることがわかった。

(2) 感想・意見

- 班に目的意識があり、子ども達は班から離れることなく頑張っており、「主体的に学習する…」のテーマにふさわしい授業であった。一班3人編成は仕事面・人間関係面でも活動しやすい。
- しおり活用の指導はこれからもいろいろな面で生かされてくるだろう。
- コピー機を設置したのは大変有効であった。コピーの下絵に色づけしたものは子どもも満足するできばえで意欲の喚起につながった。
- 子どもの作業中に机間巡視をし、適切にアドバイスしたことが後で生きてきた。
- 「わかりやすい新聞」の条件については、子どものレベルにあった実物の新聞を提示すると理解されやすいのではないかと。
- 資料の使い方のわからない子もいて能力差を感じた。

(3) 指導助言

- これまでの「教師から学ぶ学習方法」から「自分で課題をもって学ぶ方法」に改善していったのは大変よい。
- 図書館を実際に利用しての調べ学習だったので、子どもの興味・関心が高まっており意欲的であった。
- 小学校から、このような「自ら学ぶ」方法を発達段階に合わせて指導する必要がある。
- 必要な図書を自分の力で選んだのはよかった。
- 「新聞づくり」の学習の中で情報を収集していく手だてもよかった。
- 新しい学力観に見合った、新しい型の授業であった。
- 3年生の発達段階からみると、「調べるために図書を見て情報を得、さらにそれらの情報を話し合っただけで作業は難しすぎないだろうか。」
- 図書選びから採用する記事の決定までの作業は情報収集学習の大切な部分なので、1時間みっちりとってもよかったのではないかと。
- 「3年生」はふつうの新聞は読んでいないので、説明の一番始めに「少年少女新聞」を提示するとよかった。
- 「わりつけ」作業でもっときめ細かい手だてが欲しかった。
- 文章を自分なりに直すことは程度が高いので、必要な分を書き写すだけでよい。
- 調べ学習のまとめの新聞の作り方の手順をもっと細かく分化させていくとわかりやすく時間も短縮できたと思う。
- わりつけ用紙は子どもでも字が書きやすいように原稿用紙やグラフ用紙を利用してもよかったのではないかと。
- 今日の学習は「チョウ」が主なのでチョウを室内に飛ばせたり、チョウのもよう入りの洋服・ブローチ等教師のファッションなどによる雰囲気作りの気配りもほしかった。
- 「チョウとガのちがいがい」の班の新聞の記事をもっと具体的に取り上げ、児童の観察眼の鋭さをほめてほしかった。

チョウの新聞づくりを終えて (各班の考察)

調べたこと	わかったこと・気がついたこと・もっと調べたいこと
幼虫	① ルリタテハの幼虫はきれいだった。 ② 見たこともないめずらしい幼虫がいっぱいいた。 ③ 体がにている幼虫もいるんだということがわかった。 ④ アゲハの幼虫はみんな顔がにえています。
チョウの体	① チョウもガも幼虫の足が8本で、成虫の足は6本ということがわかった。 ② 前足・中足・後足の先のつめはぜんぶちがっています。 ③ 幼虫の口は○だけど、成虫になるとストローみたいになります。
住んでいる所	① 住んでいる所がどこなのかよくわかるようになった。 ② 種類によって住む所もちがうことがわかった。 ③ 沖縄の小さな島にもいろいろなチョウがすんでいます。
チョウのたまご	① つぎつぎといろいろなたまごがでてきておもしろい新聞になった。 ② 緑色のたまごが多かったです。 ③ たまごに毛がはえているのもいてサボテンみたいだった。
チョウのなかま	① チョウも日本人、アメリカ人みたいに仲間が分かれているのでおもしろいとおもった。 ② 同じチョウでも春にうまれたものと、夏に生まれたものでは大きさもはねのもようもちがうことがわかった。
チョウとガのちがい	① ちょうちょはしょっかくに毛がはえてないけど、ガははえている。 ② ちょうはとまるとき羽を立てているけど、ガはやねがたにひらいている。 ③ ガはどうして体がおおきくて、羽が小さいのだろうかとおもった。 ④ とても大きなガがいてびっくりしました。
チョウの好きなみつ	① ぼくたちは、ゴマダラチョウがナラやクヌギのしるを飲むのをはじめて知りました。また、木のしるをすうチョウはきまっていることも知りました。次はチョウのうんこのしかたを調べたいです。
チョウのさなぎ	① いろいろな形、いろいろな大きさのさなぎがあった。色はだいたいきみどりや茶色だったけど、オオゴマダラが一番大きなさなぎで、金色で特別きれいだった。
チョウの一生	① チョウは生まれて死ぬまでに4回も体の形が変わる。たまごを産むとき、オスとメスが体をよせ合うそうです。さなぎの中でどんなことをしているのか見てみたいです。
幼虫のたべもの	① キタテハの幼虫は黄色いとげでおどかしているんだということがわかった。 ② カバマダラの幼虫は奄美大島にしかいないことがわかった。 ③ せかいのちょうちょもしらべてみたいです。

VI 研究の成果と今後の課題

「教科と関連させた学校図書館の利用指導を行うことにより、児童は資料活用能力が高まり、主体的に学習する力が育つであろう。」という仮説のもとに研究をすすめてきた。関連文献のもとに理論研究をし、授業で検証したが、その結果、次のような成果と課題を得ることができた。

<研究の成果>

- (1) 図書の分類・配架を知り、目次・索引の使い方等初歩的な検索技能を身につけることにより必要な本を早く見つけ出すことができるようになったので、本を探すことをおっくうがらず、また、「わからないことは自分で調べてみよう」とする態度が出てきた。
- (2) 調べ学習のすすめ方がわかった。
- (3) 調べ学習においてコピー機が有効に使えることがわかった。
- (4) 5月の調査で大多数の児童は昔話や物語を読んでいたが、学習後は自然科学類の本を好んで読むようになった。接する機会の量によって読書傾向は変化することがわかった。
- (5) 他の班の発表を聞いたり見たりすることにより、新しいことがわかり興味や関心が広がっていった。
- (6) 学校図書館だけでなく、近くの公共図書館にも関心をもち利用する児童も出てきた。

<これからの課題>

- (1) 調べ学習の新聞作りの手引となるVTRを作成し、手順や様子がよくわかるようにする。
- (2) 国語の要旨をつかむ学習を新聞の見出し作りにいかしていく。
- (3) 図書館司書と連携を深め、関連図書の実数を把握し、児童の学習活動の便宜をはかっていく。
- (4) 今後も調べ学習を積極的にすすめ、「問題解決の場としての図書館」を意識づけていきたい。

<<主な参考文献>>

- | | | |
|---------------------------------|-----------------------|---------|
| 『自己教育力を育てる図書館利用と読書指導』 | 熱海則夫 | ぎょうせい |
| 『小学校の利用指導の実際』 | 山崎哲雄 | 全国S L A |
| 『新指導要領と学校図書館』 | 全国学校図書館協議会 | 全国S L A |
| 『教育としての学校図書館』 | 塩見 昇 | 青木書店 |
| 『小・中学校における学校図書館の利用と指導』 | 文部省 | ぎょうせい |
| 『小・中学校における読書活動とその指導』 | 文部省 | 大日本図書 |
| 『小学校 新学習指導要領と指導書の要約』 | 総合初等教育研究所 | 文 溪 堂 |
| 『学び方を育てる先生』 | 柴田義松 | 図書文化 |
| 『今日の学校図書館』 | (第26回全国学校図書館研究大会研究収録) | |
| 『課題解決のための図書館利用指導～参考図書の利用方法～』 | 浦添市教育委員会 | |
| 『研究報告書 那覇市立前島小学校(昭和45・62・63年度)』 | | |
| 『研究報告書 那覇市立天妃小学校(平成2・3・4年度)』 | | |
| 『研究報告書 宜野湾市立普天間小学校(平成2・3・4年度)』 | | |